ID[注1]	221207	公開ﾚﾍﾞﾙ[注1]		保管形式[注1]		保管場所[注1]		前回ID	211212

報告書名称/調査名称	令和3年度　白神山地周辺地域（秋田県側）における冬期ニホンジカ分布調査　報告書	発行年月/報告年月	2022年 3月
		資料形式[注2]	報告書
調査機関	東北森林管理局　藤里森林生態系保全センター	委託機関	
調査開始年	2019年 11月	調査期間	2022年 2月 ～ 2022年 4月
調査頻度[注2]	毎年 — —	調査時期[注2]	秋 冬 —
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ計画	2017年3月　改訂	区分[注2]	ⅡB　大区分[注2] 2　小区分[注2] (1) (3)

調査箇所・範囲[注3]

☐ 核心地域　☐ 緩衝地域　☑ 周辺地域

☑ GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

調査手法

■目的
　白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査項目に挙げられているニホンジカの生息域を把握するため、白神山地周辺地域の越冬場所と考えられる低標高地域（国有林）において、晩秋から早春にかけて赤外線センサーカメラによる調査を実施した。

■センサーカメラ設置箇所
白神山地世界遺産地域周辺（秋田県側）に位置する国有林内に合計３台設置した（図１）

■調査期間
　令和４年２月16日～令和4年４月28日

■使用機器

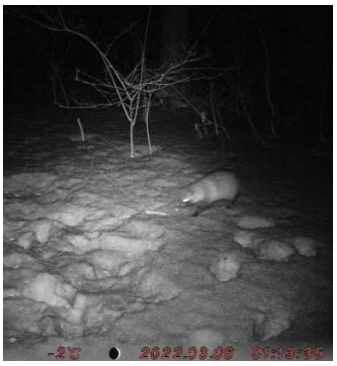
・TREL10J-D（(株)GI Supply）：３台

■集計方法
　撮影されたニホンジカの個体数の記録及び、その他に撮影された哺乳類についても調査地点毎に集計した。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

　調査期間中ニホンジカの撮影は無かった。撮影された全ての哺乳類を集計したところ、全調査地点で７種類。延べ30個体が撮影された。その内最も撮影数が多いのが、タヌキの延べ８頭で、次いでニホンザル延べ７頭、キツネ延べ７頭となった。
　また、ニホンジカ同様に分布拡大が懸念されるハクビシンは、令和２年度冬期ニホンジカ分布調査での撮影は無かったが、今回の調査で１個体が撮影された。

延べ撮影数上位３種



タヌキ（調査地3：3月6日）

キツネ（調査地2：3月5日）

ニホンザル（調査地3：2月１８日）

問い合わせ	東北森林管理局　藤里森林生態系保全センター 〒０１８－3201　秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3 TEL：０185－79－1003　IP：050－3160－5865　FAX：０185－79－1005 ≪原本（データ）の帰属について≫

注1）「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
注2）ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
注3）該当する項目の☐をクリックし、チェックを入れる。

備　考

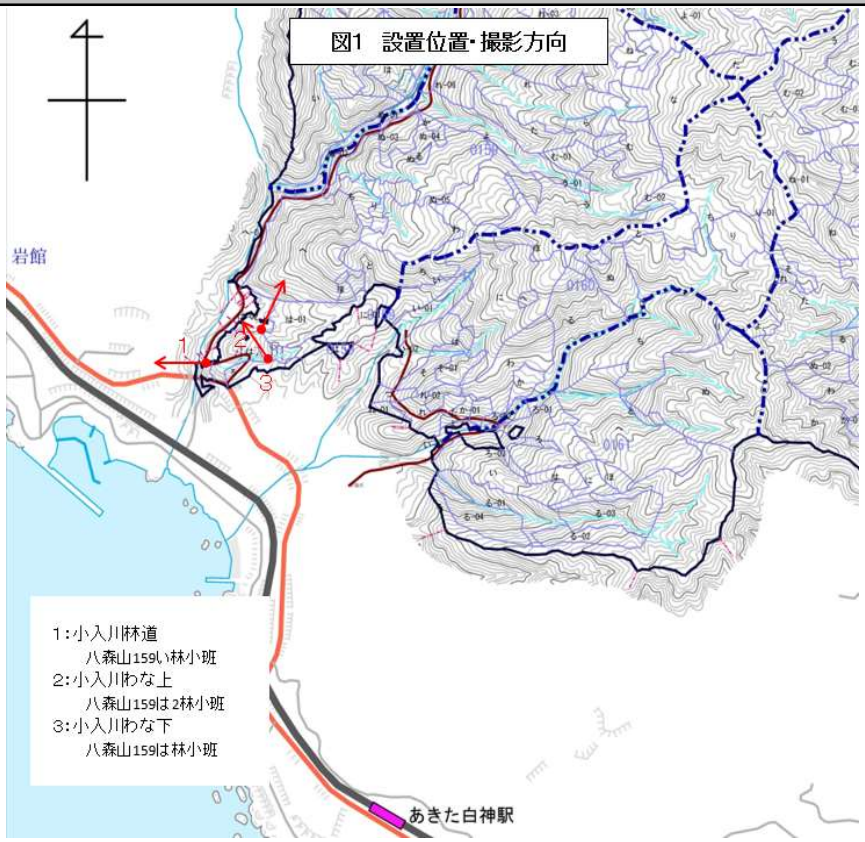


表１　センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数

種名＼調査地点	地点1	地点2	地点3	種類毎の延べ撮影数
ニホンザル	1	5	1	7
キツネ	3	2	2	7
タヌキ	3	2	3	8
テン	2		1	3
カモシカ	1	1		2
ニホンノウサギ		1	1	2
ハクビシン			1	1
地点毎延べ撮影数	10	11	9	30

センサーカメラで撮影された上位３種以外の哺乳類

テン（調査地３）

カモシカ（調査地２）

ニホンノウサギ（調査地３）

ハクビシン（調査地３）